

令和2年度 京都大学一般入試
出題意図等

地理歴史（世界史B）

- ・「出題意図等」とは、出題意図または標準的な解答例のことです。
- ・入学試験問題の満点や配点については、試験問題に記載のとおりです。
- ・各学部における個別学力検査の配点については、一般入試学生募集要項に記載のとおりです。
- ・標準的な解答例については、ここに示す表記に限るものではありません。
- ・「出題意図等」についての質問および問い合わせには対応いたしません。

I 【出題意図】

中央アジア出身のイラン系のオアシス民であるソグド人は、ユーラシア東西を結ぶ交易ネットワークを構築し、文化交流を促進するなど、ユーラシア史に大きな足跡を残した。この出題は近代以前におけるユーラシア大陸広域間の人間集団の移動・交流に焦点をあて、それがあつた地域の文化の伝播・形成に及ぼした影響を問う問題で、複数文化圏のつながりのなかで世界史を考えることの重要性に注意を喚起するねらいを持つ。

II 【解答例】

A

a クライシュ

b ムラービト

- (1) ニハーワンドの戦い (ニハーヴァンドの戦い)
- (2) アズハル = モスク
- (3) ガーナ王国
- (4) コーカンド = ハン国
- (5) ウサーマ = ビン = ラーディン (ビン = ラーディン)
- (6) ベルリン条約
- (7) ミット
- (8) マンサブダール
- (9) グプタ様式
- (10) ジンナー
- (11) チャンパー (環王、占城)
- (12) スーフィズム (イスラーム神秘主義)
- (13) ナーナク

B

- (14) 広州
- (15) 天朝田畝制度
- (16) 緑営
- (17) 琉球 (王国)
- (18) モンテスキュー
- (19) イリ (地方)
- (20) 黒旗軍
- (21) イギリス
- (22) キール (軍港)
- (23) ウラジヴォストーク (ウラジオストク)
- (24) カスティリオーネ (郎世寧)
- (25) 澎湖諸島

- (26) 張作霖
- (27) サイゴン
- (28) 鄭和

Ⅲ【出題意図】

近現代における国家間の対立は大量破壊兵器の開発を促し、大量破壊兵器の拡散は世界に多大な政治的・社会的・文化的影響を及ぼしている。本問では、キューバ危機を戦後国際関係の大きな転換点の一つととらえ、中距離核戦力全廃の合意を核兵器に関わる国際的動向の一応の区切りとみなした。記述においては、核兵器に関わる重要な諸事象の内容を把握していること、冷戦構造の変化の流れの中にそれらを位置づける能力が問われる。

Ⅳ【解答例】

A

- a アウグスティヌス
- b トマス = アクィナス
- c エンリケ
 - (1) ヘレネス
 - (2) 国家論
 - (3) コンスタンティヌス一世
 - (4) エフェソス
 - (5) ハプスブルク家
 - (6) プラノ = カルピニ
 - (7) フスを異端者として火刑に処し、教会大分裂を終わらせた。
 - (8) スペイン王が先住民に賦役と貢納を課す権利を、先住民の保護と教化を条件に、征服者・入植者に与えた。
 - (9) ピサロ
 - (10) ラス = カサス

B

- (11) 先史時代
- (12) (ア) キープ
 - (イ) 縄の結び目の、形や位置、個数、さらに縄自体の色などにより、情報を記録し伝達する。
- (13) ギルガメシュ叙事詩
- (14) 死者の書
- (15) 正教の伝道師が、スラヴ人への布教のために、ギリシア文字を参考にして考案した。
- (16) 活版印刷術と製紙法の改良により、ルターによるドイツ語訳『新約聖書』などが流布した。
- (17) キューバ
- (18) ディズニー

(19) ベトナム戦争

(20) 湾岸戦争

(21) チュニジア、エジプト、リビア、イエメンから二つ